

# ウィズダム英和辞典 第4版の凡例

## 【記号一覧】

	<b>Aランク</b> 約1300語	中学必修相当語彙
	<b>Bランク</b> 約2600語	高校必修相当語彙
	<b>Cランク</b> 約4100語	大学生・社会人に必要な語彙
	<b>Dランク</b> 約7800語	一般語彙
無印	<b>Eランク</b> 約60200語	上記以外
	<b>生活語</b> 約2000語	CDEランクの日常生活語
( )	省略可能；補足説明；副詞辞；語形変化；同義語など	
[ ]	言い換え可能	
< >	主語・目的語・補語などにくるもの	
« »	共起する前置詞，節・句など；その訳語	
( )	使用域；語の背景・百科的解説	
〔 〕	専門分野	
[ ]	語源	
【 】【 】	重要文型	
	サインポスト	
【 】【 】	文型；用法指示	
	可算名詞／不可算名詞	
	文法・語法に関する情報	
×	誤文	
└	言い換え範囲の開始箇所	
◆	分離複合語	
	論説文に頻出する表現	
	用例の開始	
	2つめ以降の用例	
→	他項目への参照	
↑ ↓	同一項目内の参照	
⇔	反意語句・対立語句	
=	異綴など，異形への参照	

## 専門分野

〔IT〕	IT, コンピュータ	〔植〕	植物, 植物学
〔アメフト〕	アメリカンフットボール	〔神〕	神学
〔医〕	医学	〔心〕	心理学
〔印〕	印刷	〔数〕	数学
〔映〕	映画	〔政〕	政治, 政治学
〔音声〕	音声学	〔生化〕	生化学
〔化〕	化学	〔生態〕	生態学
〔海〕	海事, 航海	〔生物〕	生物学
〔貝〕	貝類	〔生理〕	生理学
〔楽〕	音楽	〔船〕	船舶, 造船
〔械〕	機械	〔地〕	地理学, 地質学
〔ギリ神〕	ギリシャ神話	〔虫〕	昆虫, 虫類
〔魚〕	魚類	〔鳥〕	鳥類
〔空〕	航空	〔哲〕	哲学
〔軍〕	軍事, 軍隊	〔天〕	天文学
〔経〕	経済, 経営	〔電〕	電気, 電子工学
〔劇〕	演劇, 劇場	〔動〕	動物, 動物学
〔建〕	建築, 建築学	〔バスケ〕	バスケットボール
〔言〕	言語学	〔美〕	美術
〔工〕	工学	〔物理〕	物理学
〔鉱〕	鉱物, 鉱業	〔法〕	法律, 法学
〔考〕	考古学	〔薬〕	薬学, 薬剤
〔古生物〕	古生物学	〔郵〕	郵便
〔史〕	歴史, 史学	〔倫〕	倫理学
〔写〕	写真	〔料〕	料理
〔商〕	商業	〔口神〕	ローマ神話
〔宗〕	宗教	〔論〕	論理学

## 使用域など

《米》	アメリカ	《おどけて》	おどけた表現
《英》	イギリス	《遠回しに》	婉曲的な表現
《カナダ》	カナダ	《比喩的に》	比喩的な表現
《豪》	オーストラリア	《否定的に》	否定的ニュアンス
《ニュージー》	ニューージーランド	《肯定的に》	肯定的ニュアンス
《南ア》	南アフリカ	《皮肉で》	皮肉な表現
《スコット》	スコットランド	《丁寧に》	丁寧な表現
《アイル》	アイルランド	《ぞんざいに》	失礼な表現
《イング》	イングランド	《広義で》	広義での表現
《北イング》	イングランド北部	《狭義で》	狭義での表現
《方言》	方言	《まれ》	あまり使われない表現
《黒人》	黒人英語	《非標準》	正用法と見なされてい
《小児》	小児英語	ない表現	
《学生》	学生英語	《古》	古風な表現
《話》	話し言葉	《廃》	廃語
《書》	書き言葉	《男女共用》	性差を示さない表現
《くだけで》	くだけた表現	《引用》	引用句
《かたく》	かたい表現	《商標》	商標
《俗》	俗語	《愛称》	愛称
《卑》	卑語	《掲示》	掲示物の表現
《文》	文語	《電話》	電話で用いる表現
《修辭的に》	修辭的な表現	《広告》	広告で用いる表現
《詩》	詩語	《レシピ》	レシピで用いる表現
《報道》	ジャーナリズムの表現	《略》	略語
《ほめて》	相手をほめる表現	《同化》	隣接音の影響による発
《けなして》	相手を侮辱・軽蔑した	音変化	
表現		《強》	強形（発音）
《満足して》	満足を表す表現	《弱》	弱形（発音）
《非難して》	相手を非難した表現		

## 【発音記号表】

### 母音

/ i: /	te <u>ach</u> , be <u>et</u> le, se <u>qu</u> ence	/ u /	act <u>u</u> al, mut <u>u</u> al, sens <u>u</u> ous
/ i /	cur <u>i</u> ous, re <u>a</u> ct, ha <u>pp</u> y	/ ʊ /	loo <u>k</u> , pu <u>t</u> , wo <u>u</u> ld
/ ɪ /	si <u>t</u> , bu <u>s</u> y, bu <u>i</u> ld	/ eɪ /	ma <u>k</u> e, ra <u>i</u> n, br <u>e</u> ak
/ e /	be <u>d</u> , ma <u>n</u> y, he <u>a</u> vy	/ aɪ /	ey <u>e</u> , li <u>k</u> e, cr <u>y</u>
/ æ /	ma <u>p</u> , la <u>m</u> b, pla <u>i</u> d	/ ɔɪ /	to <u>y</u> , oi <u>l</u> , avo <u>i</u> d
/ æ   ɑ: /	fa <u>s</u> t, ha <u>l</u> f, gla <u>s</u> s	/ aʊ /	co <u>w</u> , mo <u>u</u> th, ow <u>l</u>
/ ɑ: /	fa <u>th</u> er, ps <u>a</u> lm, a <u>l</u> ms	/ oʊ /	no <u>t</u> e, op <u>e</u> n, bo <u>a</u> t
/ ɑ(:)   ɔ /	p <u>o</u> t, co <u>t</u> ton, ya <u>ch</u> t	/ ɪər /	he <u>a</u> r, de <u>e</u> r, pier <u>c</u> e
/ ʌ /	cu <u>t</u> , lu <u>ck</u> y, eno <u>u</u> gh	/ eər /	ca <u>r</u> e, be <u>a</u> r, the <u>r</u> e
/ ə:r /	gi <u>r</u> l, wo <u>r</u> ld, pea <u>r</u> l	/ ɑ:r /	ca <u>r</u> , a <u>r</u> e, hea <u>r</u> t
/ ə:   ʌ /	hu <u>r</u> ry, wo <u>r</u> ry, co <u>u</u> rage	/ ɔ:r /	fl <u>o</u> or, mo <u>r</u> ning, wa <u>r</u>
/ ə /	a <u>d</u> opt, ed <u>i</u> ble, su <u>pp</u> ose	/ ʊər /	mo <u>o</u> r, cu <u>r</u> e, to <u>u</u> r
/ ər /	ov <u>e</u> r, Sa <u>t</u> ur <u>d</u> ay, do <u>ct</u> or	/ ɪər /	we <u>a</u> ry, dea <u>r</u> ie, clea <u>r</u> ance
/ ɔ: /	la <u>w</u> , sto <u>r</u> y, ta <u>u</u> ght	/ eər /	va <u>r</u> ious, a <u>e</u> rial, fa <u>i</u> ry
/ ɔ:   ɔ /	so <u>ft</u> , do <u>g</u> , co <u>u</u> gh	/ ʊər /	fu <u>r</u> y, cu <u>r</u> ing, pu <u>r</u> ism
/ u: /	sch <u>o</u> ol, so <u>u</u> p, ru <u>l</u> e		

### 子音

#### ▶閉鎖音

/ p /	pe <u>n</u> , ha <u>pp</u> en, soa <u>p</u>
/ b /	bu <u>s</u> y, ra <u>bb</u> it, jo <u>b</u>
/ t /	ti <u>m</u> e, le <u>tt</u> er, mee <u>t</u>
/ d /	do <u>o</u> , su <u>dd</u> en, row <u>e</u> d
/ k /	ca <u>k</u> e, ki <u>ck</u> , li <u>qu</u> or
/ g /	go <u>o</u> , be <u>gg</u> ar, le <u>g</u>

#### ▶摩擦音

/ f /	fo <u>o</u> d, eff <u>ec</u> t, eno <u>u</u> gh
/ v /	ve <u>r</u> y, se <u>r</u> vice, ha <u>v</u> e
/ θ /	th <u>ree</u> , eth <u>er</u> , bo <u>th</u>
/ ð /	th <u>at</u> , oth <u>er</u> , bathe
/ s /	si <u>n</u> , si <u>s</u> ter, cu <u>p</u> s
/ z /	zo <u>o</u> , mu <u>s</u> ic, ri <u>s</u> e
/ ʃ /	sh <u>e</u> , sp <u>e</u> cial, wash
/ ʒ /	azu <u>r</u> e, lei <u>s</u> ure, rou <u>g</u> e
/ h /	ho <u>u</u> se, wh <u>o</u> le, beeh <u>i</u> ve

#### ▶破裂音

/ tʃ /	ch <u>ur</u> ch, pi <u>ct</u> ure, it <u>ch</u>
/ dʒ /	ju <u>n</u> e, sol <u>di</u> er, ed <u>g</u> e

#### ▶鼻音

/ m /	ma <u>n</u> , co <u>mm</u> on, ai <u>m</u>
/ n /	ne <u>t</u> , ba <u>nn</u> er, so <u>o</u> n
/ ŋ /	si <u>ng</u> er, a <u>ng</u> le, ki <u>ng</u>

#### ▶側音

/ l /	li <u>k</u> e, fe <u>ll</u> ow, sa <u>il</u>
-------	--

#### ▶半母音

/ w /	wa <u>ll</u> , <u>o</u> ne, awa <u>y</u>
/ r /	re <u>a</u> d, w <u>r</u> ite, ma <u>rr</u> y
/ j /	ye <u>s</u> , ya <u>w</u> n, on <u>i</u> on

#### ▶外国音

/ x /	Ba <u>ch</u> , lo <u>ch</u>
/ ç /	Lei <u>p</u> zig, Re <u>ich</u>

- クラウド辞典版は、書籍版とは字体や約物、書式など一部異なります。
- 書籍版にはない用例などを収録しています。
- 以下のページは、書籍版をそのまま収録しています。

# 本書の使い方

## 1 見出し語

- 1-1 収録項目 成句・複合語・関連語などを含め、約92,000項目を収録した。
- 1-2 重要度表示 見出しのうち、重要語については赤で示し、重要度に応じて2種類の印をつけた。  
\*Aランク(最重要語) 約1,000語  
\*Bランク(重要語) 約3,000語
- 1-3 配列 見出し語は五十音順により配列した。細則は以下の通り。  
(1) 長音符については、長音符を直前の文字に含まれる母音に置き換えて配列する。  
    コーヒー → 「コオヒイ」   ブーツ → 「ブウツ」   デート → 「デェト」  
(2) 同じながが続く場合は、原則として以下の順で配列する。  
    (a) ひらがな → 漢字 → カタカナ  
    (b) 清音 → 濁音 → 半濁音  
    (c) 直音 → 促音・拗音  
    (d) 接頭語 → 接尾語  
    (e) 品詞(名詞 → 形容詞 → 副詞 → 動詞 → その他)  
    (f) 漢字の画数が少ないもの → 多いもの  
    (g) 送りがなが多いもの → 少ないもの  
    (h) 最重要語 → 重要語 → 一般語
- 1-4 同音同字語 同音同字だが語源の異なる項目については、別々に立項し、見出し語に続けて意味区分を示した。  
    能 【能力】     カレー 【料理】  
    能 【能楽】     カレー 【フランスの都市】
- 1-5 棒見出し 同じ語幹を持つ語については、原則として同一の見出し内で扱い、2つ目以降の品詞は棒見出し(一)に続けて示した。  
    一勉強する 働: 勉強 働 の棒見出しとして示す  
    一軽く 働: 軽い 働 の棒見出しとして示す
- 1-6 品詞の表示 同一見出し語に複数の品詞がある場合は、そのそれぞれに品詞を示した。  
本書で用いる品詞は以下の通り。原則としてそれぞれ英語の品詞に対応している。  

名	名詞	形	形容詞	副	副詞	動	動詞
接	接続詞	助	助動詞	代	代名詞	問	問投詞

  
日本語の助詞については、必要に応じて《副助詞》のように示した。

## 2 語源

- 2-1 語源の表示 外来語のうち、英語以外の言語が語源のものについては、見出し語に続けて「<...語」の形でその語源を示した。  
    アベック 【<フランス語】 【男女一組】 a couple, a young couple.
- 2-2 英語の語源 英語の語源については、原則として本文の注記で扱う。

## 3 訳語

- 3-1 示し方 (1) 訳語は、用例などと区別するためにボールド体で示した。  
(2) 訳語は、原則として使用頻度の高いものから示した。  
(3) 複数の訳語がある場合は、コンマで区切って示した。ただし、意味・用法が大きく異なるものについては、セミコロンで区切り、必要に応じて意味・用法の差異に関する注記を示した。(⇒3-7~8)

- 3-2 つづり字 原則として米つづりのみを示した。ただし、米英でつづりが大きく異なる場合は、英つづりも併記した。
- 3-3 名詞の訳語 (1) 名詞の訳語は、原則として単数形で示した。ただし、複数形でのみ用いる場合には複数形で示した。  
(2) 可算名詞・不可算名詞については、不定冠詞の有無で示した。  
(a) a [an] がついている語: 可算名詞  
(b) (a [an]) がついている語: 可算・不可算の両方の用法がある名詞  
(c) a [an] がついていない語: 不可算名詞  
(3) 可算名詞・不可算名詞を表すための不定冠詞は、他の訳語と区別するために本文と同じ書体で示した。
- 3-4 変化形の表示 (1) be 以外の不規則変化語(動詞・形容詞・副詞)には、アスタリスクをつけることでその語が不規則変化することを示した。動詞・形容詞・副詞の不規則変化表は(⇒2111~2115ページ)  
(2) 名詞で不規則変化をするものは、その変化形を( )に入れて示した。  
(3) 動詞のうち以下のものについては、その形を( )に入れて示した。  
(a) 語末の子音が重なるもの: drop (-pp-)  
(b) -ie が現在分詞で -ying となるもの: tie (~d; tying)  
(c) -c で終わり変化形で -ck と -k が加わるもの: mimic (-icked; -icking)
- 3-5 説明的な訳 (1) 日本の風物に対する訳など、日本語に対応する英語がなく、説明的な訳を示す場合は、(説明的に)に続けて示した。  
(2) 説明的な訳は、他の訳語と区別するために本文と同じ書体で示した。  
合気道 *aikido*; (説明的に) a Japanese art of self-defense that takes advantage of the opponent's own movements.  
(3) 日本の文物を外国人に向けて説明する際に参考になる表現には 日本文化 の記号を付した。
- 3-6 和製英語 (1) 和製英語は、原則として訳語の最後に (和製英語) の形で示した。  
(2) 和製英語は、他の訳語と区別するために本文と同じ書体で示した。  
(3) 日本文化紹介などのためにあえて日本語の直訳を訳語として示す場合は、' ' に入れて示した。  
ゴールデンウィーク 'Golden Week' holidays
- 3-7 訳語間の差異 各訳語に対する説明・直訳、またはニュアンスの差異を示す場合は、訳語の前に ( ) に入れて示した。  
換気 *ventilation*; (通風) *airing*.
- 3-8 語義の区分 (1) 日本語の語義区分は [ ] に入れて示した。  
肝心な [重要な] *important, vital*; [必要な] *essential*; [決定的な] *crucial*.  
(2) 特に大きな区分の場合は、語義番号で分け、意味区分を [ ] に入れて示した。  
決まり ① [規則] a rule... ② [区切り] (a) *settlement*
- 3-9 INDEX (語義一覧) 語義番号が多数あり、かつ記述量の多い語については、見出しの直後に語義番号と語義を一覧できる囲み (INDEX) を示した。

## 4 用例

- 4-1 配列 (1) 用例は、訳語に続けて「句例 → 文例」の順で掲載した。  
(2) 句例の開始位置は ● で示した。  
(3) 文例の開始位置は ► で示した。
- 4-2 日本語の言い換え 日本語をそのまま直訳しても自然な英語にならない場合は、英訳への橋渡しとして日本語の言い換え表現を示した。言い換え表現の示し方は、原則として以下の通り。  
(1) 言い換えが1つの場合: (= ) の形で日本語の該当箇所の直後に示す。  
控える ●隣の部屋で控える (= 待つ) *wait in the next room*.  
(2) 言い換えが複数ある場合: ( ) の形で各英訳文の前に示す。  
大声 ●大声を出す (話す) *speak in a loud voice [loudly]*; (叫ぶ) *shout*; (呼ぶ) *call ... out*.
- 4-3 構造表記 用例が多数ある項目については、日本語の構造・コロケーションによって用例を区分した。主な構造のパターンは以下のとおり。  
(1) 名 詞: 音 ① [〜音] ② [音は[が]] ③ [音を]

- (2) 動 詞: 信じる ①【...を信じる】②【...であると信じる】  
 (3) 形容詞: 危ない ①【危ない〜】②【...が[は]危ない】  
 (4) 副 詞: 決して 【決して...ない】

## 4-4 会話例

- (1) 会話例は、用例の最後にまとめて掲載した。  
 (2) 会話例の開始位置は **会話** で示した。

## 5 成句・複合語

## 5-1 成句

- (1) 慣用句・ことわざなどは成句として、各品詞の最後まとめて掲載した。  
 (2) 成句は、原則としてその先頭の要素の項に掲載した。  
 (3) 成句の見出しは、● に続けて「ゴシック体+下線」の形で示した。  
**危ない** ●危ない橋を渡る

## 5-2 複合語

- (1) 複合語は、見出し語の最後にまとめて掲載した。  
 (2) 複合語は、その先頭の要素の項に掲載した。  
 (3) 複合語の見出しは、● に続けてゴシック体で示した。  
**生涯** ●**生涯教育**

## 6 用法解説

## 6-1 連語関係

- (1) 訳語・用例には、必要に応じて連語関係(しばしば共起する前置詞・目的語となる語句などを( )に入れて示した。  
 うれしい **glad** (*at, about, of; to do; that* 節)  
 昇進 (a) **promotion** (*to*)  
 プレッシャー ●**プレッシャー**をかける **put pressure** (*on him to do*).  
 (2) 動詞と共起する副詞については、「動詞 ... 副詞」の形で示した。  
**実行する** **carry ... out**

## 6-2 注記

- 訳語・用例についての注記は、以下の形で示した。  
 (1) 語法・用法に関する注記: ( **注** )  
 (2) 百科的な説明・語の背景・語源記事など: ( **参考** )  
 (3) 文化的な差異・背景などに関する情報: ( **事情** )  
 (4) 関連語・関連表現: ( **関連** )  
 (5) 特に分量の多い注記については、囲み記事として掲載した。

## 6-3 非文情報

- 日本人が犯しやすい「こうは言わない(方がよい)」誤文などについては、非文として × をつけて示した。  
**海** ●海に泳ぎに行く **go swimming in [×to] the sea [ocean].**

## 7 発音・アクセント・音調

## 7-1 発音・アクセント

- 発音・アクセントの位置に必要な訳語については、それぞれ発音記号・アクセント記号を示し、注意を喚起した。

## 7-2 文強勢と音調

- 文例・会話例のうち、音調に必要な場合、または音調によって文の持つ意味が変わる場合には、音調に注意すべき語句の先頭に音調記号を示した。  
 本書で用いる音調記号は、以下のとおり。

(下降調) \ (上昇調) / (下降上昇調) v (上昇下降調) ^

## 8 参照・他項目との関連

## 8-1 参照

- (1) 参照先は (⇒ ) で示した。  
 (2) 参照先は、原則として見出し語・棒見出しとする。それ以外の項目を参照させる場合は、見出し語・棒見出しに続けて具体的な参照先を [ ] に入れて示す。  
 (⇒ 決まり ② [第2文例]): 「決まり」② の2番目の文例を参照

## 9 各種コラム

## 9-1 類語解説

類語解説には、以下の2種類がある。

## (1) 使い分け

1つの語義に多くの訳語があり、その使い分けについて解説が必要な場合は、囲み記事にしてその意味の差異・用法上の注意点をくわしく解説した。

## (2) WORD CHOICE (日本語の発信キーワード120)

日本語教科書・作文コーパスから選定した日本語のキーワード120については、そのキーワードに相当する代表的な英語を挙げ、用例を示しながらその意味の差異などを解説した。また、必要に応じて頻度情報・共起情報なども示した。掲載項目の一覧は(⇒ xiii ページ)

## 9-2 LEARNER CORPUS

日本人が一般的に英語を産出する上で誤りやすく留意すべき語について、日英対照の学習者コーパスの分析結果を解説して示した。

## 9-3 COMPOSITION

80語程度以上のボリュームをもつまとまった文章としての用例を、大学入試で出題される自由英作文の形式を借りて示した。

## 9-4 DISCOURSE

まとまった文章を書く際に必要な、論旨の流れや転換を示す表現(ディスコースマーカー)の使い方について、用例をもとに解説した。

## 9-5 言い換えのヒント

英語らしい言い方をするために、日本語をどのように言い換えればよいかの実例を示した。

## 10 約物・各種記号

## 10-1 約物

( ) 省略可能な部分

[ ] 言い換え部分

( ( ) ) (1) レーベル

(2) 連語関係

(3) 略語・記号: (略 AZ) (元素記号 Ag) (...の略)

(4) 訳語の前につく語法注記: (集合的) (人が主語)

〔 〕 専門分野表示

[[ ]] (1) 日本語の語義区分

(2) カタカナ語の日本語対訳・定義

(3) 日本語の定義

(⇒ ) 参照先

(↔ ) 英語の対義語

## 10-2 レーベル

(1) 使用場面による差異

(話) 口語

(俗) 俗語

(卑) 卑語

(書) 改まった語、文語

(2) 地域的差異

(米) 米国英語・用法

(英) 英国英語・用法

(和製英語) 和製英語

(3) 時代的差異

(古) 今はあまり用いられなくなった語

(古風) 古めかしくひびく語で、現在用いられなくなりつつある語

(まれ) 今は用いられることがまれな語